



都議選 真心の支援に感謝

党東京都本部が議員総会

“恩返し”の闘い誓い合う

公明党東京都本部（高木陽介代表＝衆院議員）は5日、東京都新宿区の公明会館で議員総会を開催した。

23候補が全員当選を果たした2日投開票の都議選で公明党に寄せられた都民の期待に応え、全国からの真心の支援への“恩返し”を果

都議選支援への“恩返し”の闘いを誓い合った党東京都議員総会＝5日 公明会館

たすべく、掲げた政策の実現と率先の党勢拡大に全力を挙げることを誓い合った。

総会の冒頭、当選した23氏を代表して都議会公明党の中島義雄団長があいさつに立ち、「全国の党員、支持者の皆さまの昼夜を分かたぬご支援への感謝の思いでいっぱいだ。都議会公明党の歴史と伝統に恥じぬ闘いを全力で展開していく」と決意を述べた。

その上で、9日投開票の

太田昭宏全国議員団会議議長は、都議選で「都政を前に進める公明党」と訴えてきたことを踏まえ、「今後の都議会においても、公明党が軸となり、一つ一つ着実に政策を実現していくことが重要だ」と力説。当選した23氏に対し、「必ず結果を出し、当選させて良かったと思われようように頑張ってください」と呼び掛け

た。

その上で、9日投開票の

沖縄県那覇市議選、奈良市議選など今後も統一外地方選挙が相次ぐことから「議員率先の党勢拡大へ、いよいよの決意を固め、結果として、次の闘いのスタートを切ってください」と訴えた。

高木都代表は、都議選で公明党の総得票数が約73万票に上り、前回から10万票近く増えたことに触れながら、「掲げた政策の実現へすぐに動き、都民の期待に応えていかなければならない」と強調。「大衆とともに」の立党精神の下、地域に根差している公明党が都政や都議会ですべて役割は今後も大きいとして「街頭演説や住民相談など日常活動に取り組み、現場の声を丁寧に聞いていこう」と語った。